



# すずしろ

～開拓・発展・完成～

12月第11号

平成27年12月10日

開進第四中学校だより

校長 新村 紀 昭

## スポーツをとおして何ができるか

### 校内マラソン大会を終えて

今年度の校内マラソン大会も、生徒の努力とPTAのご協力により、無事、実施することができました。ありがとうございました。

さて、今年も多くのスポーツの祭典がありましたが、世界陸上を例にとると、メダルを獲得しているのは、ジャマイカなどの身体能力の優れた国やアメリカなどの先進国がほとんどです。2004年のオリンピック・パラリンピックロンドン大会では、発展途上国の約80カ国はメダルを獲得した経験がないというデータがあります。各国の経済的な豊かさと、人々がスポーツに取り組める環境の充実度合いは比例しているというのが現実なのだそうです。

皆さんも知ってのとおり、スポーツは健康維持のために必要なものであると同時に、観衆を感動させ、勇気を与え、愛国心を育てる力、人と人を結び付ける力などがあります。例えばラグビー世界選手権では、南アフリカとの初戦に勝ったことからラグビー人気が急上昇し、多くの日本人が深夜までテレビ中継を見て応援しました。このようにスポーツが人々に与える影響はとても大きく重要なものです。

そして、こうしたスポーツの力を発展途上国の人々に味わってもらうには、その国のアスリートを育て、より良い結果が残せるようにすることが重要だといわれています。

日本は今、オリンピック、パラリンピックの開催国として「Sport for tomorrow」という事業を実施することを決めました。その内容は「2014年から2020年までの7年間で、発展途上国をはじめとする100カ国以上の国において、1000万人以上を対象に、世界のよりよい未来のために、未来を担う若者をはじめ、あらゆる世代の人々にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていく」というものです。

では現在、どのような取り組みが行われてい



第43回 校内マラソン大会（城北公園）

るのでしょうか。JICAでは、体育や柔道、水泳、野球など、様々なスポーツ分野の指導者約3,000人のボランティアを発展途上国に派遣しており、現在も約100人が各国で活動中だそうです。青年海外協力隊の代表理事の1人で、元陸上選手の為末大氏は発展途上国支援の勉強会で、これからはオリンピックでどれだけメダルを獲得したかではなく、出場できるアスリートを何人生み出したか、それによってどれだけの人に希望を与えたかということが価値として重要ではないかと述べ、実現するための手段として青年海外協力隊へのアスリートの参加があると語ったそうです。「Sport for tomorrow」の事業にも「スポーツを通じた国際協力及び交流」というプロジェクトがあります。

毎年3年生と面接練習をしていると、プロのスポーツ選手やトレーナー、スポーツ関連の企業への就職という将来像を耳にします。今後はそうした選択肢の一つに、この「スポーツを通じた国際協力及び交流」も位置付けられるかもしれないですね。

本校はオリンピック・パラリンピック教育推進校の指定を受けて3年目を迎えました。今月の22日（火）には本校卒業生を講師とする講演会も予定しています。スポーツを様々な角度でとらえ、生涯にわたり健康作りに努めるとともに、スポーツを通して様々な人や地域と関われる人間に成長してほしいと思います。

本年もたくさんの保護者・地域の皆様からご支援・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。よい年をお迎えください。

**保護者の皆様へ 12月14日（月）の学校評価アンケートの協力をよろしくお願いします。**

## 第43回校内マラソン大会

11月27日（金）雨上がりの晴天の下、都立城北中央公園で女子3キロ・男子5キロの校内マラソン大会を実施しました。早朝の自主トレや学年の朝練習、体育の授業で練習を重ね、参加者全員が各自の目標に向けて精一杯走りました。今年も男女の別なく声援を送る姿、健闘を認め讃え合う姿がみられ、開四中生の素晴らしさを改めて感じました。

P T A役員を始め地域生活委員の皆様には監察係をご協力いただきました。また、応援に駆けつけてくださった保護者、地域の皆様も、大変ありがとうございました。

◆学年別10位入賞者一覧 **新記録** 島尻 源司（16分59秒）

	3年男子	3年女子	2年男子	2年女子	1年男子	1年女子
1	島尻 源司	武政 朝姫	松館登志朗	吉田菜々美	岩田 惇平	板倉香々葉
2	吉田 力也	能勢 七海	山内 喬雄	野島 詩織	宮島 魁	風祭 結愛
3	一戸凜太郎	鈴木さくら	片倉 駿	山川優希子	安藤 絢翔	城所 美優
4	丸山 和輝	坂口 甘菜	吉田 琉星	若林 里奈	内田 大貴	芳野日花莉
5	薄井 瑠星	森田 滯	島田 翔馬	藤野 柚里	松田 翔太	松澤 心希
6	小野 圭佑	齊藤 郁乃	中井 就万	中山 陽月	片山准之介	飯田 莉緒
7	澤野 宗行	折原あかね	趙 庸眞	谷口 凜花	澁谷 恵斗	高橋 実穂
8	日高 彰大	安部 葉南	中原 銀河	秋葉 南実	藤田 啓佑	中曾根真生
9	松永 怜志	伊藤 みな	白川 大晟	今井 絵菜	伊藤 康秀	長岡 里咲
10	高木 渚生	齊藤 真美	米山 真矢	平井 海	関 柊馬	黒田 蘭香



## 男子Aチーム準優勝！

### 第14回練馬区中学校駅伝大会



11月28日（土）、区中学校P T A連合協議会主催の駅伝大会が光が丘公園陸上競技場で開催されました。男子は33校52チーム女子は29校40チームが参加して熱戦を繰り広げました。本校は女子1、男子2チームが参加し、男子Aチームが準優勝を飾りました。また、男子と女子チーム、男子個人走も最後まで粘り強く走り抜き、来年につながる成果が出せたと思います。P T A役員をはじめ、お手伝いや応援に来ていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

◇男子Aチーム **準優勝** 島尻源司・片倉 駿・松館登志朗・菊地康太・岩田惇平・山内喬雄

Bチーム 35位 坂口瑠唯・村谷太瑠・関 柊馬・伊藤康秀・米山真矢・浪江 薫

◇女子チーム 28位 吉田菜々美・板倉香々葉・武政朝姫・小倉利華・能勢七海・齊藤郁乃

◇区間賞 第1区2位:島尻源司(8'26") 第3区3位:松館登志朗(7'29") 第5区3位:岩田惇平(7'32")

## 人権週間 12月4日～10日 相手の気持ちを考えていますか？

先週の4日から10日までは人権週間です。今年度の重点目標は「みんなで築こう 人権の世紀～考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心～」です。先月はいじめ撲滅強化月間でしたが、生徒会の取組で今年も標語コンクールを実施しました。最優秀賞には2年石橋未海さんの「もうやめよう 人の心を壊すこと」が選ばれました。人権は簡潔に言えば「自分と同じように相手を大切に作る心」だと思います。もう一度、自分の日頃の言動を振り返り考えてみましょう。

## ☆学習活動の成果 躍動する開四中生！！

- 第9回 自分で作る朝ごはんコンクール（区中研食育部会） 銅賞 伊藤 玲那
- 東京都産業教育振興会作文コンクール（東京都産業教育振興会）佳作 安部 葉南
- 明るい選挙ポスターコンクール中央審査（財：明るい選挙推進協会）入選 秋吉 洗弥
- 中学生「税についての作文」（練馬東納税貯蓄組合連合会）練馬区长賞 石橋 彩愛  
練馬東納税貯蓄組合連合会会長優秀賞 山下果林 練馬東納税貯蓄組合連合会会長賞 板倉美怜

本校ホームページにマラソン大会や駅伝の情報をUPしていますのでご覧ください。